

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2020年10月1日(01.10.2020)



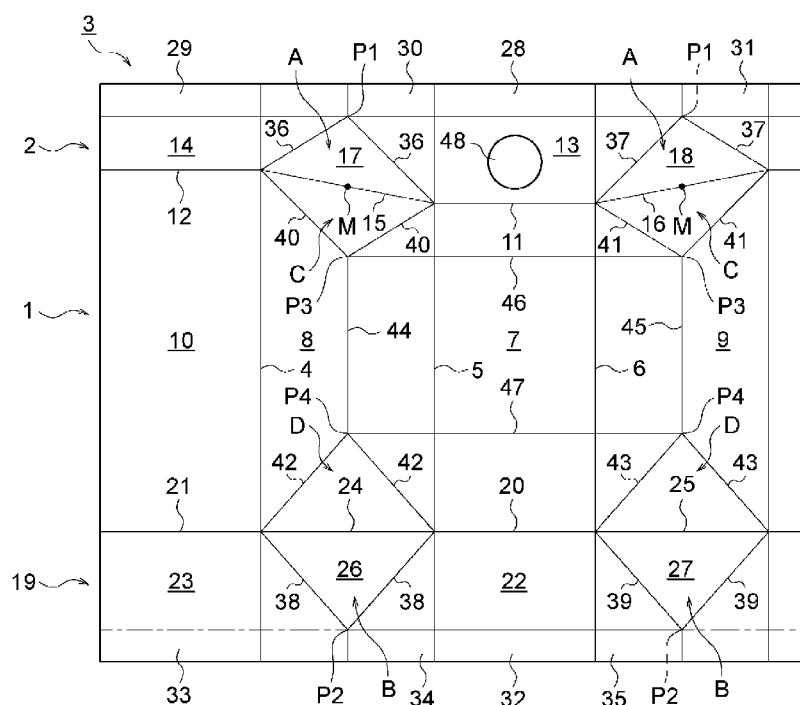
(10) 国際公開番号

WO 2020/196128 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 5/06 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2020/011868
- (22) 国際出願日: 2020年3月18日(18.03.2020)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2019-065161 2019年3月28日(28.03.2019) JP
- (71) 出願人: 日本製紙株式会社 (NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1140002 東京都北区王子1丁目4番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 米田 芳貴 (YONEDA, Yoshitaka); 〒1140002 東京都北区王子5丁目21番1号 日本製紙株式会社内 Tokyo (JP). 中村 孝也 (NAKAMURA, Kouya); 〒1140002 東京都北区王子5丁目21番1号 日本製紙株式会社内 Tokyo (JP). 阿曾井 栄一 (ASOI, Eiichi); 〒1140002 東京都北区王子5丁目21番1号 日本製紙株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 大塚 明博, 外 (OTSUKA, Akihiro et al.); 〒1010032 東京都千代田区岩本町2丁目5番12号 サカエビル6階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,

(54) Title: PAPER CONTAINER

(54) 発明の名称: 紙容器



(57) Abstract: The purpose of the present invention is to obtain an easily flatly foldable paper container having a top part in which a top surface is an inclined surface. In a paper container having an inclined surface at a top part thereof, body-part left and right lateral surface panels have first folding inclined folding lines 40 and 41 that form triangles C point-symmetrical with triangles A formed in lateral surface panels 17 and 18 using middle points M of second top part lateral folding lines 15 and 16 as symmetrical centers, and second folding inclined folding lines 42 and 43 that form

CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT,
HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH,
KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY,
MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ,
NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,
ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG,
US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告(条約第21条(3))

triangles D line-symmetrical with triangles B formed in inner bottom surface panels 26 and 27 using second bottom part horizontal folding lines 24 and 25 as symmetrical axes. A body part panel has body part vertical folding lines 44 and 45 that connect apexes P3 of the triangles C and apexes P4 of the triangles D to each other, a first folding horizontal folding line 46 that connects the apexes P3 of the triangles C to each other, and a second folding horizontal folding line 47 that connects the apexes P4 of the triangles D to each other.

(57) 要約: 頂面を傾斜面とした頂部を有する紙容器を容易に扁平に折り畳むことができるようにした紙容器を得るために、頂部が傾斜面となっている紙容器において、胴部左右側面パネルには、側面パネル17, 18に形成された三角形Aと第2頂部横折線15, 16の midpoint Mを対称中心として点対称の三角形Cを形成する第1折り畳み用傾斜折線40, 41と、内側底面パネル26, 27に形成された三角形Bと第2底部横折線24, 25を対称軸として線対称の三角形Dを形成する第2折り畳み用傾斜折線42, 43とを設け、胴部パネルには、三角形Cの頂点P3と三角形Dの頂点P4を結ぶ胴部縦折線44, 45と、三角形Cの頂点P3同士を結んだ第1折り畳み用横折線46と、三角形Dの頂点P4同士を結んだ第2折り畳み用横折線47とを設けた。

明 細 書

発明の名称：紙容器

技術分野

[0001] 本発明は、牛乳やジュース等の液体飲料、液体洗剤、ゼリーやクリームなどの粘稠物、果実片等の固形状の食物をミックスした液体飲料などの液状物を収容するフラットトップ型頂部を有する紙容器に関する。

背景技術

[0002] 牛乳やジュース等の液体飲料、液体洗剤、ゼリーやクリームなどの粘稠物、果実片等の固形状の食物をミックスした液体飲料などの液状物を収容する容器として、紙容器が広く使用されている。こうした紙容器は、中身を消費した後に廃棄する際に、なるべく嵩張らないように折り畳んで廃棄することが望まれる。

[0003] 従来、扁平に折り畳むことができるようにした紙容器として、切妻型又は平面状の頂部を有する角形の液体用紙容器において、容器を形成するための罫線の他に、容器正面の側壁部の左右にある2つの側壁部に、その上端と下端とにある左右の角を結ぶ4つの稜線を底辺とした二等辺三角形形状に側壁部の中央に向かって斜めの交差する罫線を2本ずつ設け、さらに、これらの斜めの罫線によって形成された4つの交点を結ぶ、左右の側壁部にそれぞれ1本の縦の罫線と、正面の側壁部又は裏面の側壁部のどちらか一方に跨る横の罫線を2本設けたことを特徴とする液体用紙容器が知られている（例えば特許文献1参照。）。

特許文献1に記載された切妻型又は平面状の頂部を有する角形の液体用紙容器は、いずれも容器の側壁部は矩形となっているので、その上端と下端とにある左右の角を結ぶ稜線を底辺とした二等辺三角形の頂点、即ち側壁部の中央に向かって斜めの交差する2本の罫線の交点は側壁部の中央に位置することになる。

これにより、上端側と下端側の二等辺三角形の頂点（2本の罫線の交点）

を結ぶ縦の罫線は、側壁部の幅方向中央に、側壁部の側辺と平行に設けられるので、容器正面の側壁部を押圧することにより、左右にある側壁部が、側壁部に設けられた縦の罫線から山折れし、容器正面の側壁部と容器背面の側壁部が重なり、折り畳みが可能となる。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：実開平6－76027号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 近年、意匠的見地から頂部の頂面を、容器本体の正面側が低く背面側が高くなる傾斜面としたフラットトップ型頂部を有する紙容器が出現している。しかし、このような頂面を傾斜面とした頂部を有する紙容器を折り畳めるようにするために特許文献1に記載された技術を応用しても、特許文献1に記載された液体紙容器のように扁平に折り畳むことができない。

なぜなら、頂面を傾斜面とした頂部を有する紙容器は、容器正面の側壁部の左右にある2つの側壁部の上端ある左右の角を結ぶ稜線が傾斜しているので、この稜線を底辺とした二等辺三角形形状に傾斜する罫線を側壁部に設けたとき、この罫線の交点は、側壁部の背面側近傍に位置することになる。

[0006] 従って、容器正面の側壁部の左右にある2つの側壁部の下端にある左右の角を結ぶ稜線を底辺とした二等辺三角形形状に側壁部の中央に向かって傾斜する罫線の交点と、容器正面の側壁部の左右にある2つの側壁部の上端にある左右の角を結ぶ稜線を底辺とした二等辺三角形形状に傾斜する罫線の交点とを結ぶ縦の罫線は容器の側壁部間の縦の罫線とは平行にはならない。このため、容器正面の側壁部を押圧し、容器正面の側壁部の左右にある2つの側壁部に設けられた上下2つの交点を結ぶ縦の罫線を折っても、容器正面の側壁部と容器背面の側壁部が重ならず、扁平に折り畳むことができない。

[0007] 本発明の目的は、廃棄に際して容易に扁平に折り畳むことができる、頂面

を傾斜面とした頂部を有する紙容器を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0008] 上記の目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、四角の胴部を形成するところの胴部縦折線を介して接続している胴部正面パネルと胴部左右側面パネルと胴部背面パネルとを有し、頂部を形成するところの前記胴部正面パネル及び前記胴部背面パネルに第 1 頂部横折線を介して接続する一对の頂面パネルと、前記胴部左右側面パネルに第 2 頂部横折線を介して接続する一对の側面パネルとを有し、底部を形成するところの前記胴部正面パネル及び前記胴部背面パネルに第 1 底部横折線を介して接続する一对の外側底面パネルと、前記胴部左右側面パネルに第 2 底部横折線を介して接続する一对の内側底面パネルを有し、前記頂部を構成する前記一对の側面パネルには前記第 2 頂部横折線を底辺とし、前記側面パネルの先端の幅方向中央を頂点とする三角形を形成する 2 本の斜線からなる頂部傾斜折線が設けられ、前記底部を構成する前記一对の内側底面パネルには前記第 2 底部横折線を底辺とし、前記内側底面パネルの先端近傍の幅方向中央を頂点とする三角形を形成する 2 本の斜線からなる底部傾斜折線が設けられ、前記頂部は胴部正面パネル側が低く前記胴部背面パネル側が高い傾斜面となっている紙容器において、前記胴部左右側面パネルには、前記第 2 頂部横折線を底辺として、前記一对の側面パネルに形成された三角形と前記第 2 頂部横折線の中点を対称中心として点対称の三角形を形成する 2 本の斜線からなる第 1 折り畳み用傾斜折線を設けるとともに、前記第 2 底部横折線を底辺として、前記一对の内側底面パネルに形成された三角形と前記第 2 底部横折線を対称軸として線対称の三角形を形成する 2 本の斜線からなる第 2 折り畳み用胴部傾斜折線を設け、さらに、前記胴部左右側面パネルには、前記第 2 頂部横折線を底辺とする三角形の頂点と、前記第 2 底部横折線を底辺とする三角形の頂点を結ぶ折り畳み用縦折線を設け、また、前記胴部左右側面パネルと前記胴部左右側面パネルの間に接続している前記胴部正面パネルまたは前記胴部背面パネルには、前記第 2 頂部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の

頂点又は頂点の下方近傍同士を結んだ第1折り畳み用横折線を設けるとともに、前記第2底部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の頂点又は頂点の上方近傍同士を結んだ第2折り畳み用横折線を設けたことを特徴とする。

[0009] 請求項1に記載の発明によれば、前記胴部左右側面パネルには、前記第2頂部横折線を底辺として、前記一对の側面パネルに形成された三角形と前記第2頂部横折線の中点を対称中心とした点対称の三角形を形成する2本の斜線からなる第1折り畳み用傾斜折線を設けたので、前記第2頂部横折線と第1折り畳み用傾斜折線によって形成される三角形の頂点は、前記第2頂部横折線を底辺として、前記一对の側面パネルに形成された三角形の頂点から垂下した線上、即ち、前記胴部左右側面パネルの横幅方向の中央に位置することになり、前記第2頂部横折線と第1折り畳み用傾斜折線によって形成される三角形の頂点と、前記第2底部横折線と第2折り畳み用傾斜折線によって形成される三角形の頂点とを結ぶ前記胴部左右側面パネルに設けられた前記折り畳み用縦折線は、前記胴部左右側面パネルの幅方向中央で、前記胴部正面パネル、前記胴部左右側面パネル、前記胴部背面パネル間の胴部縦折線と平行となる。

この結果、前記胴部正面パネルを押圧することにより、前記胴部側面パネルは、前記胴部側面パネルに設けられた前記折り畳み用縦折線から山折れし、前記胴部正面パネルと前記胴部背面パネルが無理なく容易に重なる。

この状態から、前記第2頂部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の頂点又は頂点の下方近傍同士を結んだ第1折り畳み用横折線を谷折りすることにより、第1折り畳み用傾斜折線が山折れし、前記頂部が重なった状態にある前記胴部正面パネルと前記胴部背面パネルに重なり、そして、前記第2底部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の頂点又は頂点の上方近傍同士を結んだ第2折り畳み用横折線を谷折りすることにより、第2折り畳み用傾斜折線が山折れし、前記底部が重なった状態にある前記胴部正面パネルと前記胴部背面パネルに重なるの

で、全体を扁平に折り畳むことができる。

発明の効果

[0010] 以上のように、本発明に係る紙容器によれば、頂面を傾斜面とした頂部を有する紙容器であっても容易に扁平に折り畳むことができ、廃棄作業を容易に行うことができる。

図面の簡単な説明

[0011] [図1]本発明に係る紙容器の実施の形態の本例を示す斜視図である。

[図2]図1に示す紙容器を成形するカートンブランクスの展開図である。

[図3]図1に示す紙容器を折り畳んだ状態を示す平面図である。

発明を実施するための形態

[0012] 以下、本発明に係る紙容器の実施の形態の一例を、図面を参照して詳細に説明する。

図1～図3は本発明に係る紙容器の実施の形態の一例を示すものであり、図1は本例の紙容器の斜視図、図2は図1に示す紙容器を成形するカートンブランクスの展開図、図3は図1に示す紙容器を折り畳んだ状態を示す平面図である。

[0013] 本例の紙容器は、四角の胴部1と、頂面を傾斜面とした頂部2を有する紙容器であり、図2に示すカートンブランク3から成形される。

カートンブランク3は、四角の胴部1形成するところの胴部縦折線4, 5, 6を介して接続している胴部正面パネル7と胴部左右側面パネル8, 9と胴部背面パネル10とを有し、また、頂部2を形成するところの胴部正面パネル7及び胴部背面パネル10に第1頂部横折線11, 12を介して接続する一对の頂面パネル13, 14と、胴部左右側面パネル8, 9に第2頂部横折線15, 16を介して接続する一对の側面パネル17, 18とを有し、また、底部19を形成するところの胴部正面パネル7及び胴部背面パネル10に第1底部横折線20, 21を介して接続する一对の外側底面パネル22, 23と、胴部左右側面パネル8, 9に第2底部横折線24, 25を介して接続する一对の内側底面パネル26, 27を有している。

[0014] 頂面パネル１３，１４の先端には外側頂部シールパネル２８，２９が接続され、側面パネル１７，１８の先端には内側頂部シールパネル３０，３１が接続されている。また、外側底面パネル２２，２３の先端及び内側底面パネル２６，２７の先端にはシール部３２，３３，３４，３５が設定されている。

[0015] 胴部１を形成する胴部正面パネル７と胴部背面パネル１０にあっては、胴部正面パネル７は胴部背面パネル１０よりも底部１９からの高さが低く形成されており、胴部正面パネル７と胴部背面パネル１０の間に接続している胴部左右側面パネル８，９の上端辺となる第２頂部横折線１５，１６は胴部正面パネル７側が下がった傾斜線となっている。

[0016] 頂部２を構成する一对の側面パネル１７，１８には、第２頂部横折線１５，１６を底辺とし、一对側面パネルの１７，１８の先端の幅方向中央を頂点Ｐ１とする三角形Ａを形成する２本の斜線からなる頂部傾斜折線３６，３７が設けられている。この頂部傾斜折線３６，３７を山折りして一对の側面パネル１７，１８を折り畳み、紙容器１の平坦な頂部２を形成する。頂部傾斜折線３６，３７は、第２頂部横折線１５，１６が胴部正面パネル７側が下がった傾斜線となっているので、第２頂部横折線１５，１６を構成する２本の斜線の内、第２頂部横折線１５，１６の胴部正面パネル７側の端部に接続する斜線が胴部背面側パネル１０側の端部に接続する斜線よりも長くなっており、また、それぞれ傾斜角度が異なっている。

[0017] 底部１９を構成する一对の内側底面パネル２６，２７には、第２底部横折線２４，２５を底辺とし、一对の内側底面パネルの２６，２７の先端近傍の幅方向中央を頂点Ｐ２とする三角形Ｂを形成する２本の斜線からなる底部傾斜折線３８，３９が設けられている。

ここで、一对の内側底面パネルの２６，２７の先端近傍とは、底部１９を形成するところの胴部正面パネル７及び胴部背面パネル１０に第１底部横折線２０，２１を介して接続する一对の内側底面パネル２６，２７の先端に設定されたシール部３４，３５との境界線を指す。

[0018] 胴部左右側面パネル 8, 9 には、第 2 頂部横折線 15, 16 を底辺として、一对の側面パネル 17, 18 に形成された三角形 A と第 2 頂部横折線 15, 16 の中点 M を対称中心として点对称の三角形 C を形成する 2 本の斜線からなる第 1 折り畳み用傾斜折線 40, 41 が設けられている。即ち、第 1 折り畳み用傾斜折線 40, 41 を構成する 2 本の斜線の内の胴部正面パネル 7 側の斜線は、頂部傾斜折線 36, 37 を構成する 2 本の斜線の内の胴部背面パネル 10 側の斜線と長さ及び傾斜角度が等しくなり、第 1 折り畳み用傾斜折線 40, 41 を構成する 2 本の斜線の内の胴部背面パネル 10 側の斜線は、頂部傾斜折線 36, 37 を構成する 2 本の斜線の内の胴部正面パネル 7 側の斜線と長さ及び傾斜角度が等しなっている。これにより、第 1 折り畳み用傾斜折線 40, 41 を構成する 2 本の斜線の交点であるところの、第 2 頂部横折線 15, 16 を底辺とした三角形 C の頂点 P3 は、第 2 頂部横折線 15, 16 を底辺とした三角形 A の頂点 P1 から垂下した胴部左右側面パネル 8, 9 の横幅方向の中央の位置となる。

[0019] また、胴部左右側面パネル 8, 9 には、第 2 底部横折線 24, 25 を底辺として、一对の内側底面パネル 26, 27 に形成された三角形 B と第 2 底部横折線 24, 25 を対称軸として線対称の三角形 D を形成する 2 本の斜線からなる第 2 折り畳み用傾斜折線 42, 43 が設けられている。このとき、第 2 底部横折線 24, 25 を底辺とした三角形 D の頂点 P4 は胴部左右側面パネル 8, 9 の横幅方向の中央の位置となっている。

[0020] さらに、胴部左右側面パネル 8, 9 には、第 2 頂部横折線 15, 16 を底辺とする三角形 C の頂点 P3 と、第 2 底部横折線 24, 25 を底辺とする三角形 D の頂点 P4 を結ぶ折り畳み用縦折線 44, 45 が設けられている。

[0021] また、胴部左右側面パネル 8, 9 と、胴部左右側面パネル 8, 9 の間に連接されている胴部正面パネル 7 には、第 2 頂部横折線 15, 16 を底辺として胴部左右側面パネル 8, 9 に形成された三角形 C の頂点 P3 同士を結んだ第 1 折り畳み用横折線 46 が設けられており、また、第 2 底部横折線 24, 25 を底辺として胴部左右側面パネル 8, 9 に形成された三角形 D の頂点 P

4 同士を結んだ第 2 折り畳み用横折線 4 7 が設けられている。

なお、本例では、第 1 折り畳み用横折線 4 6 と第 2 折り畳み用横折線 4 7 は胴部正面パネル 7 を通過するように形成されているが、胴部背面パネル 1 0 を通過するように形成することもできる。

[0022] また、本例では、第 1 折り畳み用横折線 4 6 を頂点 P 3 同士を結んで形成し、第 2 折り畳み用横折線 4 7 を頂点 P 4 同士を結んで形成しているが、第 1 折り畳み用横折線 4 6 を頂点 P 3 の下方近傍同士を結んで形成し、第 2 折り畳み用横折線 4 7 を頂点 P 4 の上方近傍同士を結んで形成しても、本例と同様の効果を得ることができる。

ここで、近傍とは頂点 P 3 又は P 4 からカートンブランクスの厚み程度離れた位置のことをいい、例えば、第 1 折り畳み用横折線 4 6 を、頂点 P 3 からカートンブランクスの厚さ程度垂下した位置同士を結ぶことにより形成し、第 2 折り畳み用横折線 4 6 を、頂点 P 4 からカートンブランクスの厚さ程度垂直方向の上方に離れた位置同士を結ぶことにより形成するといったこともできる。

[0023] また、胴部正面パネル 7 に第 1 頂部横折線 1 1 を介して接続する頂面パネル 1 3 は口栓 4 8 が接着される面となっており、口栓 4 8 と連通させる開口部 4 9 が形成されている。

[0024] このような展開構造を有するカートンブランクス 3 により、四角の胴部 1 と、頂面を胴部正面パネル 7 側が低く胴部背面パネル 1 0 側が高い傾斜面とした頂部 2 を有する紙容器 1 が成形される（図 1 参照。）。

[0025] このように構成された紙容器によれば、胴部左右側面パネル 8, 9 には、一对の側面パネル 1 7, 1 8 に形成された、第 2 頂部横折線 1 5, 1 6 を底辺とし側面パネルの 1 5, 1 6 の先端中央を頂点 P 1 とする三角形 A と第 2 頂部横折線 1 5, 1 6 の中点 M を対称中心として点対称の三角形 C を形成する 2 本の斜線からなる第 1 折り畳み用傾斜折線 4 0, 4 1 を設けたので、三角形 C の頂点 P 3 は三角形 A の頂点 P 1 から垂下した線上、即ち、胴部左右側面パネル 8, 9 の横幅方向の中央に位置することになる。

[0026] 従って、第2頂部横折線15、16と第1折り畳み用傾斜折線40、41によって形成される三角形Cの頂点P3と、底辺となる第2底部横折線24、25と第2折り畳み用傾斜折線42、43によって形成される三角形Dの頂点P4とを結ぶ胴部左右側面パネル8、9に設けられた折り畳み用縦折線44、45は、胴部左右側面パネル8、9の幅方向中央で、胴部正面パネル7、胴部左右側面パネル8、9、胴部背面パネル10間の胴部縦折線4、5、6と平行となる（図1、図2参照）。

[0027] この結果、胴部正面パネル7を押圧することにより、胴部側面パネル8、9に設けられた折り畳み用縦折線44、45が山折れし、胴部正面パネル7と胴部背面パネル10が無理なく容易に重なる。

[0028] この状態から、第2頂部横折線15、16を底辺として胴部左右側面パネル8、9に形成された三角形Cの頂点P3同士を結んだ第1折り畳み用横折線46を谷折りすることにより、第1折り畳み用傾斜折線40、41が山折れし、頂部2が重なった状態にある胴部正面パネル7と胴部背面パネル10に重なる。

[0029] そして、第2底部横折線24、25を底辺として胴部左右側面パネル8、9に形成された三角形Dの頂点P4同士を結んだ第2折り畳み用横折線47を谷折りすることにより、第2折り畳み用傾斜折線42、43が山折れし、底部19が重なった状態にある胴部正面パネル7と胴部背面パネル10に重なる。これにより、紙容器全体を扁平に折り畳むことができる（図3参照）。

符号の説明

- [0030] 1 胴部
2 頂部
3 カートンブランク
4、5、6 胴部縦折線
7 胴部正面パネル
8 胴部左側面パネル

- 9 胴部右側面パネル
- 10 胴部背面パネル
- 11, 12 第1頂部横折線
- 13, 14 頂面パネル
- 15, 16 第2頂部横折線
- 17, 18 側面パネル
- 19 底部
- 20, 21 第1底部横折線
- 22, 23 外側底面パネル
- 24, 25 第2底部横折線
- 26, 27 内側底面パネル
- 28, 29 外側頂部シールパネル
- 30, 31 内側頂部シールパネル
- 32, 33, 34, 35 シール部
- 36, 37 頂部傾斜折線
- 38, 39 底部傾斜折線
- 40, 41 第1折り畳み用傾斜折線
- 42, 43 第2折り畳み用傾斜折線
- 44, 45 折り畳み用縦折線
- 46 第1折り畳み用横折線
- 47 第2折り畳み用横折線
- 48 口栓
- 49 開口部
- A, B, C, D 三角形
- P1, P2, P3, P4 頂点
- M 中点

請求の範囲

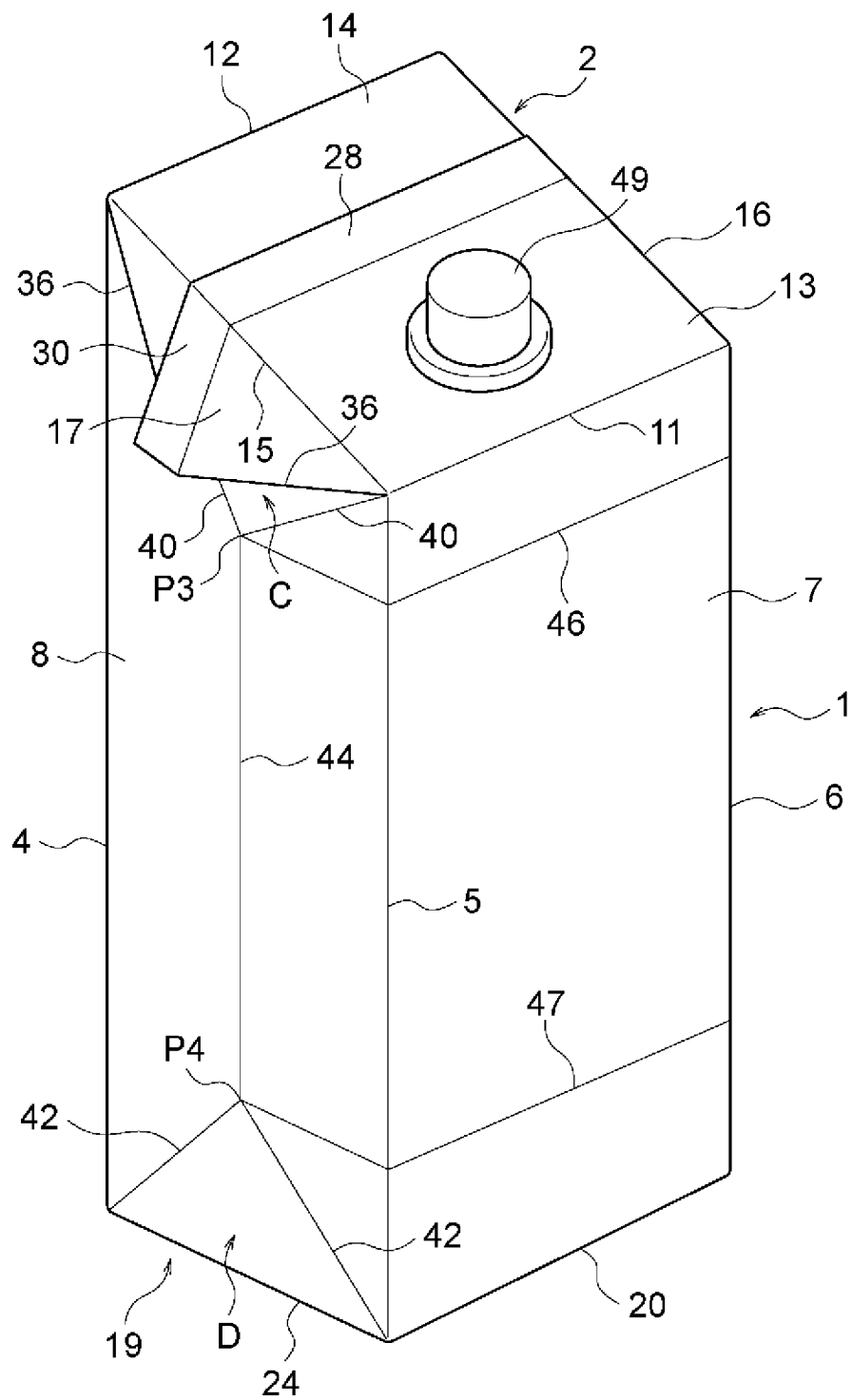
[請求項1]

四角の胴部を形成するところの胴部縦折線を介して接続している胴部正面パネルと胴部左右側面パネルと胴部背面パネルとを有し、頂部を形成するところの前記胴部正面パネル及び前記胴部背面パネルに第1頂部横折線を介して接続する一対の頂面パネルと、前記胴部左右側面パネルに第2頂部横折線を介して接続する一対の側面パネルとを有し、底部を形成するところの前記胴部正面パネル及び前記胴部背面パネルに第1底部横折線を介して接続する一対の外側底面パネルと、前記胴部左右側面パネルに第2底部横折線を介して接続する一対の内側底面パネルを有し、前記頂部を構成する前記一対の側面パネルには前記第2頂部横折線を底辺とし、前記側面パネルの先端の幅方向中央を頂点とする三角形を形成する2本の斜線からなる頂部傾斜折線が設けられ、前記底部を構成する前記一対の内側底面パネルには前記第2底部横折線を底辺とし、前記内側底面パネルの先端近傍の幅方向中央を頂点とする三角形を形成する2本の斜線からなる底部傾斜折線が設けられ、前記頂部は胴部正面パネル側が低く前記胴部背面パネル側が高い傾斜面となっている紙容器において、

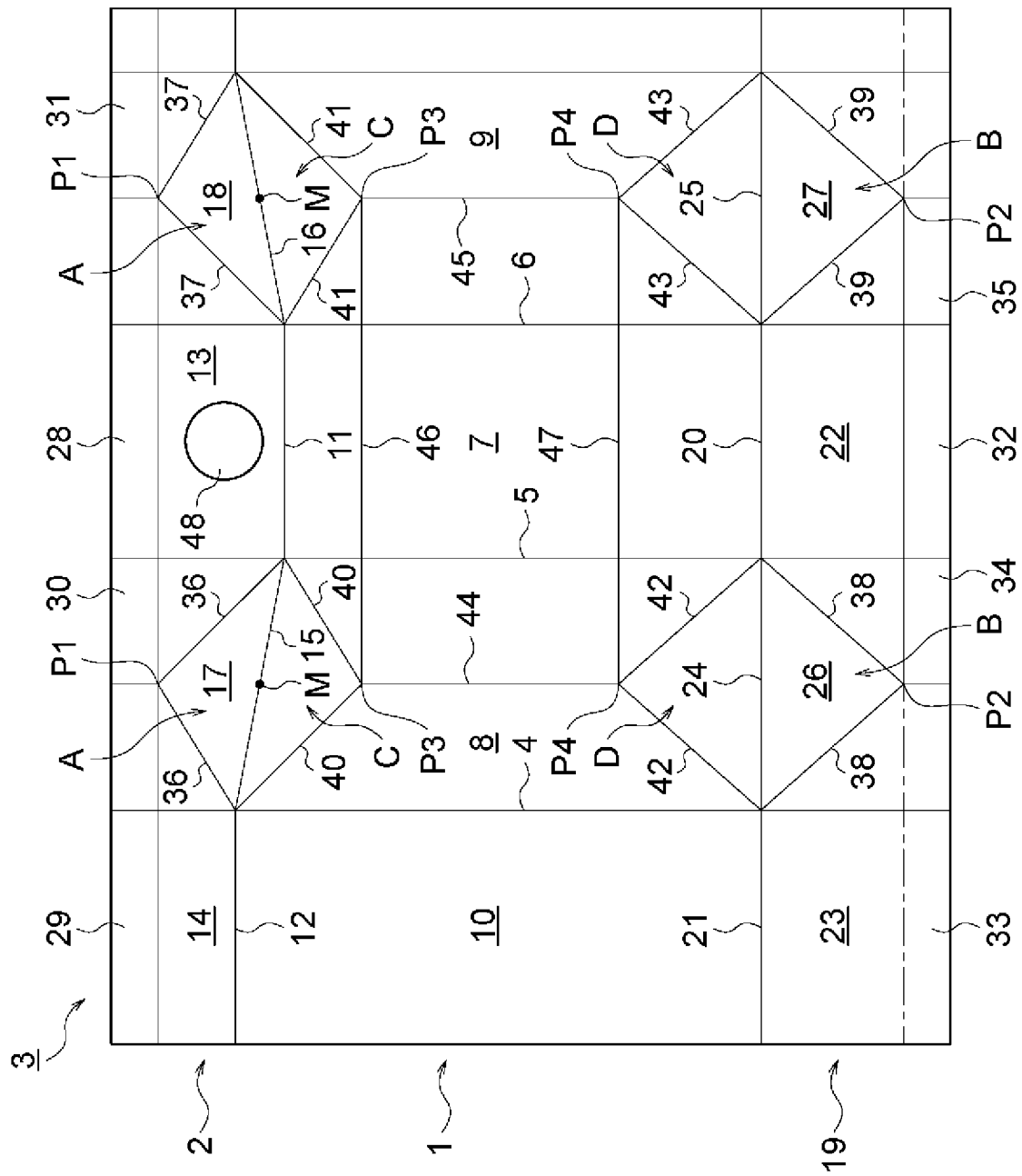
前記胴部左右側面パネルには、前記第2頂部横折線を底辺として、前記一対の側面パネルに形成された三角形と前記第2頂部横折線の中点を対称中心として点对称の三角形を形成する2本の斜線からなる第1折り畳み用傾斜折線を設けるとともに、前記第2底部横折線を底辺として、前記一対の内側底面パネルに形成された三角形と前記第2底部横折線を対称軸として線対称の三角形を形成する2本の斜線からなる第2折り畳み用傾斜折線を設け、さらに、前記胴部左右側面パネルには、前記第2頂部横折線を底辺とする三角形の頂点と、前記第2底部横折線を底辺とする三角形の頂点を結ぶ折り畳み用縦折線を設け、また、前記胴部左右側面パネルと前記胴部左右側面パネルの間に接続されている前記胴部正面パネルまたは前記胴部背面パネルには、前記

第2頂部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の頂点又は頂点の下方近傍同士を結んだ第1折り畳み用横折線を設けるとともに、前記第2底部横折線を底辺として前記胴部左右側面パネルに形成された三角形の頂点又は頂点の上方近傍同士を結んだ第2折り畳み用横折線を設けたことを特徴とする紙容器。

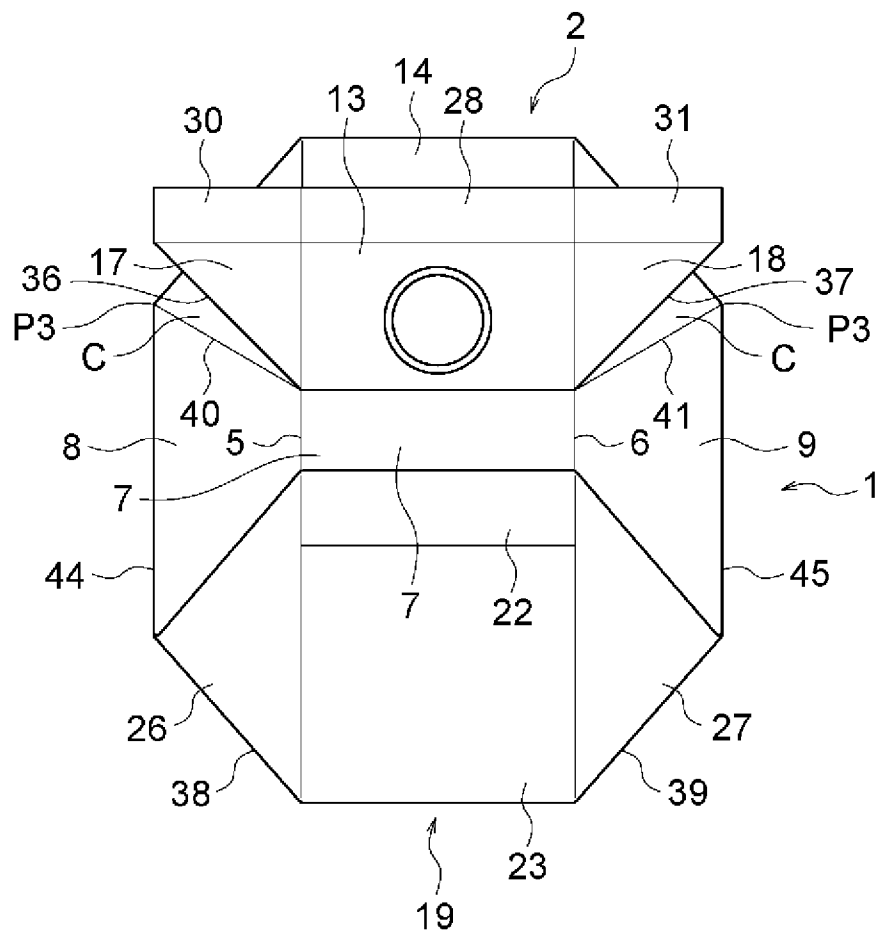
[図1]



[図2]



[図3]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2020/011868

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65D 5/06 (2006.01) i

FI: B65D5/06 200; B65D5/06 ERP; B65D5/06 BSK

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D5/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2020
Registered utility model specifications of Japan	1996-2020
Published registered utility model applications of Japan	1994-2020

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 11-91792 A (DAINIPPON PRINTING CO., LTD.) 06.04.1999 (1999-04-06) paragraphs [0009]-[0017], fig. 2-3	1
Y	CD-ROM of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 16084/1992 (Laid-open No. 76027/1994) (TOPPAN PRINTING CO., LTD.) 25.10.1994 (1994-10-25) claims, paragraphs [0001]-[0011], [0026]-[0032], fig. 1-2, 6, 10	1
Y	JP 2015-205725 A (DAINIPPON PRINTING CO., LTD.) 19.11.2015 (2015-11-19) paragraphs [0016]-[0054], fig. 1-9	1



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
03 June 2020 (03.06.2020)

Date of mailing of the international search report
16 June 2020 (16.06.2020)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2020/011868

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 11-310230 A (DAINIPPON PRINTING CO., LTD.) 09.11.1999 (1999-11-09)	1
A	GB 2473276 A (COLLINGWOOD, Maximilian James) 09.03.2011 (2011-03-09)	1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2020/011868

Patent Documents referred in the Report	Publication Date	Patent Family	Publication Date
JP 11-91792 A	06 Apr. 1999	(Family: none)	
JP 6-76027 U1	25 Oct. 1994	(Family: none)	
JP 2015-205725 A	19 Nov. 2015	(Family: none)	
JP 11-310230 A	09 Nov. 1999	(Family: none)	
GB 2473276 A	09 Mar. 2011	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） B65D 5/06(2006.01)i FI: B65D5/06 200; B65D5/06 BRP; B65D5/06 BSK														
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） B65D5/06 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922 - 1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971 - 2020年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996 - 2020年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994 - 2020年</td> </tr> </table> 国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			日本国実用新案公報	1922 - 1996年	日本国公開実用新案公報	1971 - 2020年	日本国実用新案登録公報	1996 - 2020年	日本国登録実用新案公報	1994 - 2020年				
日本国実用新案公報	1922 - 1996年													
日本国公開実用新案公報	1971 - 2020年													
日本国実用新案登録公報	1996 - 2020年													
日本国登録実用新案公報	1994 - 2020年													
C. 関連すると認められる文献														
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号												
Y	JP 11-91792 A（大日本印刷株式会社）06.04.1999（1999 - 04 - 06） [0009]-[0017], 第2-3図	1												
Y	日本国実用新案登録出願4-16084号（日本国実用新案登録出願公開6-76027号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM（凸版印刷株式会社）25.10.1994（1994-10-25）[実用新案登録請求の範囲], [0001]-[0011], [0026]-[0032], 第1-2, 6, 10図	1												
Y	JP 2015-205725 A（大日本印刷株式会社）19.11.2015（2015 - 11 - 19） [0016]-[0054], 第1-9図	1												
A	JP 11-310230 A（大日本印刷株式会社）09.11.1999（1999 - 11 - 09）	1												
A	GB 2473276 A（COLLINGWOOD, Maximilian James）09.03.2011（2011 - 03 - 09）	1												
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。														
<table border="0"> <tr> <td>* 引用文献のカテゴリー</td> <td>“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの</td> </tr> <tr> <td>“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの</td> <td>“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの</td> <td>“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）</td> <td>“&” 同一パテントファミリー文献</td> </tr> <tr> <td>“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</td> <td></td> </tr> <tr> <td>“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献</td> <td></td> </tr> </table>			* 引用文献のカテゴリー	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの	“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの	“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの	“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	“&” 同一パテントファミリー文献	“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献		“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	
* 引用文献のカテゴリー	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの													
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの													
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの													
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	“&” 同一パテントファミリー文献													
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献														
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献														
国際調査を完了した日 03.06.2020		国際調査報告の発送日 16.06.2020												
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		権限のある職員（特許庁審査官） 長谷川 一郎 3N 9135 電話番号 03-3581-1101 内線 3361												

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2020/011868

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	11-91792	A	06.04.1999	(ファミリーなし)	
JP	6-76027	U1	25.10.1994	(ファミリーなし)	
JP	2015-205725	A	19.11.2015	(ファミリーなし)	
JP	11-310230	A	09.11.1999	(ファミリーなし)	
GB	2473276	A	09.03.2011	(ファミリーなし)	